磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼発行人　長瀬芳郎

今日のメモ
初午（各地のお稲荷さん賑う）
縣スキー大會（猪苗代スキー場）

一般平衡交付金決る
小名濱は六百三十二万圓

二十六年度一般平衡交付金の本縣割當はこの程九億九千七百九十四萬七千円と決定し地方財政委員会より四日正式通知があつたが各市町村のうち關係町村の分は次の通り

小名浜…六百三十二万八千、江名…三百六万八千、鹿島…百二十四万九千、泉…三百七万一千、渡邊…百六十一万三千、植田…三百二十七万四千、豊間…三百二万八千、山田…二百四十三万七千、勿來…六百九十四万三千、上遠野…三百六十三万九千、入遠野…三百五十七万九千、川部…百五十三萬四千、田人…三百四十五万九千、内郷…六百二十七萬六千、赤井…百四十二萬四千、草野…二百三十二万二千、四倉…二百四十五万四千、大浦…二百一万二千、大野…二百三十九万九千

城勇氏を會長に
磐城歌謠文化協會生る

常磐炭礦音樂部では社会人の教養を昂めるための音樂、演藝を普及することになり＝磐城歌謠文化協會＝の結成を準備中であつたがこの程規約並に役員の決定をみたので來る十七日より發足することになつた

仝会は定期研究会を月二回催し、随時發表会も開き年二回總会を行うまた会の機構は總務、事務、會計、運營、音樂、聲樂、演藝各部に分れており入会費は一人五十圓會費一ヶ月百円となつている、主なる役員は次の通り

會長　城　勇＝兼音樂部長（常磐炭礦音樂部長）
副会長　羽田春光＝兼運營部長（内郷礦機電係）
總務部長　鈴木二郎（常磐炭礦職組内郷支部）
演藝部長　濱崎廣太郎
聲樂部長　早坂　玲子
事務部長　栗原利喜夫（湯本礦）
会計部長　吹野孝紀（内郷礦）
会計監査　新妻敏男（内郷礦建築係）
仝　豊島和夫（戸部炭礦）
支部長　三瓶昭二（呉羽化学錦工場）

家庭生活合理化の講習

縣教育委員会事務局では石城　平連合婦人会の後援で來る二十四日午前九時より磐城女子高等学校に於いて家庭生活合理化の講習会を開く

縣教組青年婦人部總會

縣教員組合石城支部では來る十六日午前九時より磐城女子高等学校講堂に於いて青年、婦人部合同總会を開き次の三議題について協議する

①青年婦人教師は学校で如何にあるべきか
②研修は如何にあるべきか
③活動をはゞむものは何か

なお当日は東大教授宮原誠一氏の講演が行われる

縣青年産業振興大會
郡代表高萩君ら決定
水産部門に瀧内貞氏出場

福島縣教育委員會事務局社會教育課、福島縣、縣連合青年会共催の第五回縣青年産業振興大会は來る十六、十七の兩日福島市縣立農蚕高校講堂に於て行われるが五市十六郡より約七十名の選手が參集するが石城郡代表として一月二十日石城地方事務所に於て行われた郡大會の入賞者、一位の小名浜青年會の高萩及び二位の草野青年團の江尻の兩君が出場するが一郡から四名出場することになつているので特に推選により小名浜青年会から商工水産部門として瀧内、女子一般から田子の二君が出場することになつたなお研究部門、課題は次の通りである

第一部、農業經營「煙草耕作を打込んだ農業經營」　草野村　江尻清美
第二部、農業技術「二毛作菜種の栽培について」　小名濱町　高萩儀一
第三部、女子一般「食生活の改善」　小名浜町　田子幸子
第四部、商工水産「赤外線による魚類の乾燥法」　小名浜町　瀧内　貞

台灣會結成
元台灣在住者

呪わしい戰爭の犧牲となり、雄圖空しく全財産を放棄して引揚げて來た元台灣在住の人々によつて台灣との國交修復を期に相互の親睦を圖るため小名浜商工会伊藤旭氏が中心となつて小名浜、江名豊間、鹿島、泉の三町二カ村の該当者によつて台灣会を組織することになつた

申込場所は小名浜町定西小名浜商工會内伊藤旭宛　申込〆切は二月末日、申込書記入の概要は

1氏名及生年月日
2舊台灣の住所
3舊勤務先及職名
4現勤務先及職名、營業名

であるが名簿作製上詳細に記入されたいと

―數え年の不合理―
―滿歳で呼ぼう―

現在世界で年令を數え年で呼んでいる慣習の國は日本と中國のみで歐米諸國を初め他の東洋諸國も大体「滿呼び」を行つているが、數え年を採用した理由は年間を通じて年改まる正月を神聖化視し、人生の新しい門出として祝し一日も早く成人させ家をも繼いで知行も早く戴こうという封建色なしきりによつたものである

ところが滿呼びの主張は新生日本が世界に進出するにも、また年齢的に老けた感じを脱ぎすて、成人の正しい認識と自覺を持たせるためにも數え年による年齢差の矛盾を無くそうとするにある

數え年は前述の如く國際的にも困り、講和締結一年目の新春を迎えた日本人が、自ら年齢を增して老人扱いされることは何かと不利ではなかろうか、鐵道としても小兒の旅客運賃は滿六才から滿十二才と規定しており、配給の点でも育兒用、成人の加配米などの点に不公平がある

法律上ではすべて滿であつたから合理的と言えるであろう、滿で自分の年を何年何カ月とハッキリ知ることは人格尊嚴を認識することにもなる、それと同時に正月の十日前に生れたものが一つ年をとるというようなことがなくなり自己の誕生日を通じて自らを自覺させ、人としての責任を知り人權の尊重ともなるであろう、數え年で年老いて隱居するということは早まりすぎまいか、何時までも若い年令であつて欲しい

民法第三條によると「滿二十才をもつて成人とする」となつており、このほか兒童福祉法、勞働基準法など〝滿〟が採用されているにかゝわらず、數え年は單なる生活上の慣習として使われて來たものでこの点不合理を是正したものである

南北朝岩城史　⑦
―伊賀氏と國魂氏と―
高萩精玄

さて、宮方にとつては由々しい大敵が出現し、奥羽の天地は、絶えざる戰亂のルツボの中に置かれることになつたのである。

それは北條時行を退けて鎌倉入りをした足利尊氏は、關東、奥羽を自家籠中のものにしようとして、八月十三日、私か（ひそ）に、斯波彌三郎家長を陸奥守に任じ、奥州管領として、陸奥に入國させたことであつた。家長は陸中の國は斯波郡、高淸水の城に據つた。

こゝにおいて一つの陸奥に二人の陸奥守―顯家は陸奥權守であつたが―が現われた譯である。しかも、相馬重胤は、いち早くも家長に面接してその與黨になつた。これが奥州騷亂の一つの崩しとなる事は明かな事實であつた。

事態は、更に急なるものがあつた。さきに朝命に從わず、鎌倉に據つた足利尊氏は、新田義貞の罪狀を列擧して處罰せられんことを朝廷に請うた。義貞も、これに對して、尊氏・直義等の罪惡を暴露し、ことに大塔宮護良親王を弑し奉つた大逆を訴えた。こゝにおいて朝廷は、十一月、大いに兵を發して、東海、東山、奥州路の三方面から鎌倉を指して押し寄せることゝなつた。

奥州軍は、義良親王を奉じて、鎭守府將軍北畠顯家が南下して、鎌倉の背後をつく手順であつた。しかし、この三軍の間には殆んど連絡がとれていなかつたので、事は不成功の裡に運ばれ、尊氏、直義は逃げる宮方の兵を追つて、一路京洛の地に、その軍を進めたのであつた。

事こゝに至つて、十二月二十二日、北畠顯家は義良親王を奉じて急遽上洛の途に就かれた。父親房、結城宗廣、伊達行朝も從軍した。南部師行が留守をあずかつたのである。

顯家が、陸奥を發した時、奥州管領　斯波家長は、これを討ち止めようとした。しかしそれも叶わなかつたので、その後を追つて鎌倉に上つた。これと行を共にしたのは相馬重胤一家のもの、更にはさきに盛光と共に木幡山に小平某を討つた武石胤顯等、東海道（ひがしかいどう）を南下して関東を目指した。

隣國常陸においては、当國隨一の豪族佐竹上總入道道源―貞義―も亦、足利直義の檄文に應じ、斯波家長とともに、義良親王を懷（いだ）き取り、國司―顯家をさす―以下の凶徒を打ちとろうとして、久慈郡佐竹の館に軍勢を催した。

天氣予報　6

【本日】北西の風大体良い天氣ですが北部山沿地方では時々雲が擴がりましよう

【海上】北西の風がやゝ強く波立ちますが明日は次第におさまりましよう

魚菜市況　5

【小名浜中央青果市場】ねぎ四〇〜四五、さつま四〇〜五〇、白菜（一俵）一三五、油菜二〜二、五〇、大根二〇、丸大根一五、馬鈴薯五五、はうれん草一三〇、卵八、五〇

【小名浜魚市場】えび一三〇〇、はも五二〇、いか六六、たこ一五〇、さめざ一〇〇〜一五〇、たら一八〇、小赤四〇、唐人二〇、なめた五〇〇、どんと一〇〇、のど三五〇、やり七五、たか四〇〇、黄松五三〇〜五七〇

江戸前壽し・温い丼類
仕出し
折詰め
急募　女中小僧さん入用

金壽司
小名浜駅前
電一二八

先般湯本町觀光協會並に磐城日日湯本支局の後援を得まして當店多年の懸案たる羊かんが「さはこ」と命名され、その容器がこの程出來上り縣下は勿論縣外にも溫泉みやげ品として販賣致す銘菓羊かんが出來上りました今後共倍舊の御引立の程御願い申上げます

湯本名物温泉みやげ
「さはこ羊かん」
製造元　小松屋菓子店
赤津清五郎
湯本町　電話三〇七番

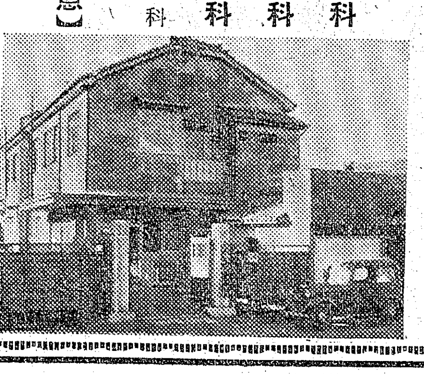
電話新設お知らせ

毎度格別の御引立を賜り厚く御禮申上げます。さて長らく御不便をおかけして居りましたがこの度、左記の通り電話を新設、一月十八日より開通いたしました。何卒、御利用下さるようお願旁々お知らせ申上げます。

電話（平）一三五二番

各種塗料・染料・顔料刷毛類其他塗料附屬器具と機械一切店賣販
株式會社ダイヤ塗料商會
代表者　橋本保
平市南町六七（平和通り）

外科
内科
性病科
レントゲン科
【入院随意】
石井醫院
小名浜町本町　電四七二



第三種郵便物認可　新聞定價一ヵ月60円　一部賣3円（月曜休刊）

磐　城　日　日

昭和27年（1952年2月6日（水曜日）【第456号】

小名浜海難救護會 十日出初式を擧行

諏訪神社に海難防止祈願

小名浜海難救護会役員会は三日午前十時より小名浜漁業協同組合会議室で開催、同救護会出初め式を來る十日（舊正十五日）行うことを決定した、全日午前七時組合のサイレンを合図に全員魚市場に集合し先ず諏訪神社に海難防止祈願を爲す、次いで組合会議室に於て決算報告、優良會員の表彰を行う

なお同救護會は現在まで四部と工作部を合せ五部制であつたがこの度地区組合所屬の底曳船だけで第五部を新に設けることになり六部制の機構に改正された

身体障害白書

湯本町役場にて發表

湯本町役場厚生課社会係では軍人、軍屬、報國隊一般人の身体障害者實態調査を行つてきたがこの程その集計がまとまり身体障害者の白書が發表されたがその内軍人、軍屬關係は僅か二十三名でありその他一般障害者は次の通りである

▼視覺障害＝全盲二十六名、弱視十一名

▼聽覺障害＝全ろう五名難聽六名

▼言語障害＝不能一名、困難三名

▼肢体不自由＝上肢三十三名、下肢七十四名、体六名

であり之れを級別に見ると

一級三十一名、二級十九名、三級二十九名、四級六十一名、五級二十四名六級二名

これを職業別にみると

全盲＝きゆう師、あんまはり九名

弱視＝販賣一名、採鑛二名、鍛冶工一名

全ろう＝販賣一名、家具職一名

難聽＝販賣一名、單純勞仂一名

言語困難＝販賣一名

上肢＝技術二名、事務十八名、販賣七名、農業一名、採鑛二十三名、運輸四名、裁縫一名、家具職七名

体＝事務一名

▼現に公的扶助をうけている者を障害別にみると

視覺障害＝生活扶助六名厚生年金二名、その他二名

聽覺障害＝生活扶助一名醫療扶助一名

肢体不自由＝生活扶助五名、醫療一名、恩給一名、勞災九名、厚生年金十名、共濟組合三名その他一名

あの丘越えて

高原の牧場と都会の塵埃を背景に野育ちで天衣無縫な少女のかもし出す人生觀を通してその週圍の人々が健康で純粹なものに引かれて行くと云つた菊田一夫のキング所載のストーリーを「飛び出した若旦那」をあげて好調の俊鋭、瑞穂春海監督が自身脚色し、メガホンを取るもので企畫に福島通人製作には山口松三郎が当る外、配役では鶴田浩二美空ひばりの初コンビに井川邦子を加えて、ひばりの初戀めいた感情を取りあげてある所がとの映画の今迄になかつた新生面を開くもので、この一作に依つて大人の世界へ大きく飛躍しようとする美空ひばりの試金石とも云ふべきで、之れを助けて好漢、鶴田が学生の家庭教師として、彼女の心を美しく育てて行く—夢多い物語りの中に鶴田、美空のコンビで全篇を歌いまくるし、加えて高屋朗、堺駿二、そして大船作品に決定な色彩をもたらす河村黎吉、飯田蝶子奈良眞養のヴイブレアが登場する哀愁篇

拳銃地獄

出征前夜ふとしたはずみに識り合つた一人の女を想いつづける暗黒街の夜の紳士が悪の泥沼に激しい良心の痛みを感じながら遂に、眞人間に立直る迄、やくざ女の強烈な戀男の切ない意地、と鐵火の仁義が過卷く中に、轟然と火を吐く戀の二挺拳銃の凄じさは、物語りの息もつかせぬ面白さと相俟つて、正に凄絶無双、空前の大拳銃活劇映画

…キャスト…

轟夕起子、小夜福子、二本柳寛、シミキン、岡田英次　山村聰

デコチヤンの千一夜

わかれ雲

小名浜　金　星　座

三本立上映　九〜十一日

「マダムと女房」以來「今ひとたびの」「面影」等珠玉のような幾多の名作を発表して、日本映画界に貴重な足跡を殘して來た名匠五所平之助が四年間に亘る沈默を破り、ことに再起第一回の情熱と抱負とをそそいで贈る抒情と浪曼の香り豊かな良心大作で、五所監督が、自ら俊英館岡謙之助、「少年期」の田中澄江と協同してシナリオを書き、新鋭プロ・スタジオ・エイトに從つて、新生五所イズムを世に問ふ藝術祭参加作品である

配役陣には清新美貌の新人澤村契惠子「きけわだつみの聲」の沼田曜一、文學座のベテラン三津田健以下豊富な藝達者連と俳優座、文學座、第一協團、綜藝、藝苑、東演集の新進を網羅し、別に川崎弘子の友情出演を見ると云う豪華異色の絢爛さである、物語りは、若い主人公眞砂子が、都会を離れて過した短い旅の間に、自然の素朴な姿とそこに住む人々の廣い心に接することによつて「豊かな眞實の愛情」の何たるかを知り、明日への生る喜びと確信を抱くまでの、謂わば若い魂の抒情遍歴を描くもので、オールロケによる五所監督の才腕は、生活に裏づけられたロマンティズムと云つたものを見事に再現し日本映畫界に新分野を拓いて快心の珠玉篇であろう

曉の急襲

東京の裏玄關ノガミの實態を素つ裸にする!!

出演藤田進　田崎潤、水島道太郎、香川京子、藤田泰子、二葉あき子

同時上映中

小名浜　金　星　座

母子寮に餅

宗川住職贈る

小名浜町西町心光寺住職宗川宗滿師は昨四日小名浜町母子寮に餅十貫目を贈つたが、寮では思いがけない贈物に感激、早々分配して感謝と共にその恩惠を味つた

結核予防醫の講習會

平保健所では結核醫療に從事する平醫師会の協力を得て來る二十二日平市公会堂日本間に於いて浜通り結核予防醫師講習会を開く講師は

結核行政の出費負担について＝橋縣衛生部長

結核に對する人類の苦闘を省みて＝福島醫大大里俊吉氏

レントゲン撮影について＝縣予防技師浦山一郎氏

小名署の防犯警戒

懸命な努力に町民感激

小名浜地区署では嚴寒降雪もいとわず防犯警戒に鈴木署長以下懸命な努力をなしているが去る四日午前二時卅分頃夜間警羅を実施中菊地、中野兩巡査が小名濱第一小学校講堂際の暗がりで施錠のまゝの新品自轉車を發見したが、早速持主を調査したところ小名浜商工会專務飯塚勝氏のものと判り午前九時開廳と同時に飯塚氏に連絡引渡したが署員の綿密警羅ぶりに飯塚氏は感激し乍ら

いやまつたく感謝のほかありませんあんな隅々まで深夜警戒巡視すると判り、今更乍ら署員の皆様の勞苦を知りました、將來防犯に協力すると共に少しでも御苦勞をかけぬよう致します

と語つていた

点景小名浜俳句大会

一、期日　二月十日（舊正十五日）（日）午後一時

一、會場　小名濱町富ヶ浦公園内　高木可水宅

一、當季雜詠三句持參

一、講評　「浜」同人峰松宏泉　「麥」同人鈴木珠鱗子

一、賞品　三光入選作及互選十位まで

一、會費　五拾圓

一、大會幹事　石井芳江、久野智照、今村雨峽　高木可水、蛭田親司

一、文音所　小名浜町字滑津蛭田醫院電四九六　蛭田親司

尚点景俳句會は一統一派に偏するものではなく初心者を交へて樂しく俳句の勉強をする會ですから新しく俳句を作ろうとされる方は御遠慮なく御參會下さい

（例會日　小名濱町後宿安養院にて毎月第三日曜日午後六時より會費は二十圓です）

遺族會の資金助成

菊の御紋入り電球販賣

小名浜町遺族会では縣遺族連合会の趣旨に同調し石城福祉事務所長竝に小名浜町長後援のもとに遺族会資金助成の目的を以つて菊花紋章入りの特製電球を販賣することになり、近く各町區内の遺族會役員が現品を持參して各戸を訪問することとなつており、趣旨贊同の上一個でも結構につき買つて貰いたいと要望している、電球は理研、JIS菊花紋章入特製一級品で市價より約一個につき何れも二〇円安價でありワット別價格は次の通りである

一〇〇ワット	七五円
六〇ワット	六五円
四〇ワット	六〇円

※JIS（日本工業規格）このマークのあるものは日本標準調査會の審査合格品である

第一春日丸 水死体拾う

江名町向畑二の一番地漁業坂本春吉氏所有底曳漁船第一春日丸（二七トン）は二月四日午後一時三十分頃江名沖南東微東二〇哩附近に於て底曳操業中腐爛して殆んど元型を認め得ない水死体が網の中に入つたため死体を收容直ちに江名港に歸港し小名浜海上保安部に連絡檢屍を受けたが着衣はゴム製雨合羽式作業上衣で同じ對のズボンをはいており、ズボンは自轉車チューブで吊つており、クグリ式の機械編セーターを着て居るが袖のみは手編らしく袖の附根から腕の中途迄は二色のシマ模様で他の部分は一色であり下着のアンダーシャツは白色、模様式の編スジが入つて居る、年令其の他は一切不明で時期も判然としない

……昨朝の氣温零下十度……

小名濱測候所開所始めて

昨五日早朝の寒さは零下一〇・七度に達し明治四十三年小名浜測候所開所以來の最低氣温で、昭和十五年の最低氣温零下九・三度をはるかに凌いでいる、この氣温に就て小名浜測候所では次の様に語つた

こゝ四、五日北風が吹いて日中の温度が上つていない上に、低氣壓が來て寒い空氣が充滿し且夜間輻射が伴い地面の冷却を來し、一〇・七度に達した

尚この寒さは二、三日續きましよう

訂正

本紙四四九号に掲載の記事中に渡邊勇（小名浜町岡小名前原）とあるは同名異人にて本人は住所不定につき訂正

磐城日日新聞社

大友工務店
大友孝之進
小名浜町大字岡小名
營業科目
土木建築
設計施行
石材
コンクリ砂
砂利販賣

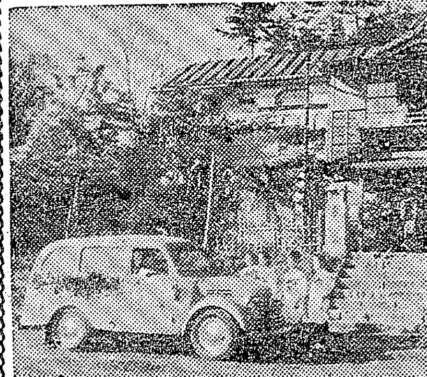
健康は早い手當と良いクスリ。
これからの時節に多い、
胃病　痔病！！
感冒！に
自信を持つておすゝめする優秀薬用意してあります
虫下しクスリなら
長生堂藥局
小名浜町中島
電話三七〇番

女中さん若干名雇入れます
昨冬來より新築中の別館近日中落成
新春、若葉の香り馥いくと！弊館自慢の別館各室は御來宿皆さま方の一夜の憩の宿として充分御滿足を得る事と信じて居ります、是非御出で下さいませ
旅館　若葉館
小名浜町第二小学校前
電話三五〇番

洋服は技術もスタイルも價格もきつと御滿足を得られる
紳士服
婦人子供服
大井洋服店
小名浜町本町

醇良銘酒
小名浜町　清水屋酒造店　電話六番

環境に恵まれた閑靜な！



お電話ですぐお迎えに參ります
日本國有鐵道推薦
日本交通公社協定
旅館　小瀧
福島縣小名浜港
電話103番